

## 2. 火山の概況

(平成16年8月26日～平成16年9月1日)

浅間山では噴火があり、山腹に噴石が飛散し、降灰が福島県北部太平洋沿岸にまで達した。火山活動度レベル（以下レベルと記載）を2から3に変更した。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

桜島では降灰があった。

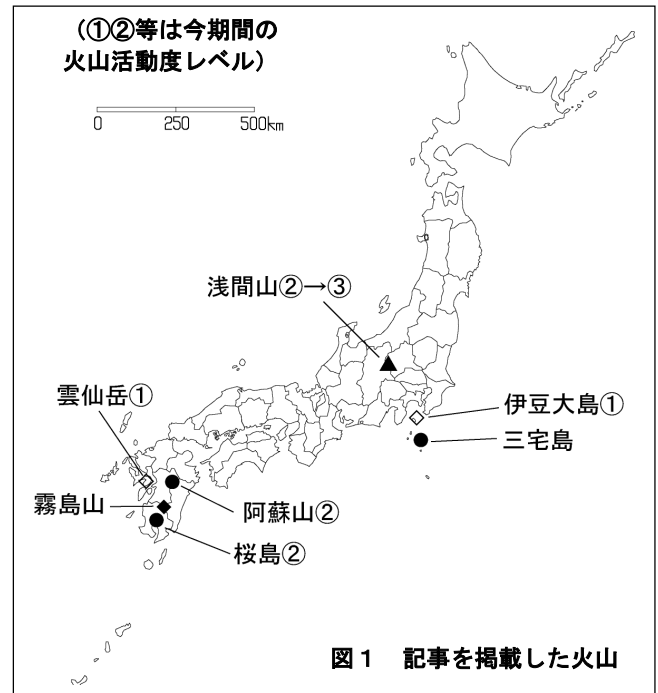


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	硫黄島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号						
36	8/26-9/1	②→③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		◆			
35	8/19-8/25	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◆	●		●	◆		
34	8/12-8/18	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	▲		
33	8/5-8/11	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		●			
32	7/29-8/4	①→②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		●			●

**注1 記号の意味**

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

**注2** 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

### ▲ 浅間山 [爆発的噴火・地震・微動・噴煙] レベル2 (やや活発な火山活動) →レベル3 (山頂火口で小～中規模噴火が発生) <期間外の記述を含む>

#### 爆発的噴火があり、降灰が福島県北部太平洋沿岸に達した。

1日20時02分に爆発的な噴火が発生し、火山活動度レベルを2 (やや活発な火山活動) から3 (山頂火口で小～中規模噴火が発生) に変更した。

噴火に伴い、軽井沢測候所(山頂火口の南約8km)で大きな爆発音と205Paの空振が観測され、測候所に設置された監視カメラで、噴石が山腹まで飛散するのが観測された。悪天のため、噴煙の状況は不明であった。

9月2日(期間外)に行った現地調査によると、山頂火口から北東方向に火山灰、火山れきが降下していた。降灰は福島県相馬市(山頂から北東約250km)にもあったと報告されている(図2)。

噴火に伴い振幅の大きな地震が発生し(震度1以上を観測した観測点はなし)、その直後から火山性微動が観測され、同日23時頃まで続いた。振幅の小さい火山性地震の発生は、前期間からやや多い状態が続いていたが、31日15時頃から増加して多い状態となり、31日は1日あたり114回、9月1日は183回(噴火発生までは179回)が観測された。噴火後は少なくなり9月2日(期間外)は17回であった。今期間、噴火以前に火山性微動は観測されなかった。

噴煙活動は期間を通して活発で、27日には監視カメラで白色の噴煙が最高火口縁上1,000mまで上がるのが観測された。噴火発生以降は悪天のため噴煙の状況は不明であった。

浅間山が噴火したのは昨年4月18日以来、山腹以遠に噴石を飛ばすような規模の噴火については1983年4月8日以来である。

**図2 浅間山 9月1日20時02分の噴火の降灰分布(気象官署及び防災関係機関からの情報による)**

(黒丸：降灰の報告があった地点  
白丸：降灰の報告がなかった主な地点)



**◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

**● 三宅島 [噴煙・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上1,300mであった。振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり12~33回とやや多い状態で推移した。

**● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

**中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。**

26日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割、表面温度の最高は82℃(前期間は74℃)で、火口壁の最高温度は278℃(前期間は287℃)と依然高温状態にあった。湯だまりの中央部、西側及び南側で高さ約5m、その他数ヶ所で高さ2~3mの土砂噴出が発生していた。また、火口底南西側の孤立したごく小さな湯だまり内でも、高さ2~3mの土砂噴出が発生していた。

期間中、火山性連続微動が継続した。孤立型微動の発生回数は今期間476回で前期間(605回)からやや減少した。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上400m(前期間400m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

**◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

**◆ 霧島山**

悪天の日が多かったため、期間中の御鉢火口の噴気活動は不明であった。地震活動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

**● 桜島 [降灰] レベル2 (比較的静穏な噴火活動)**

期間中、噴火は発生しなかった(前期間もなし)。噴煙活動も低調で、悪天で期間の半分は不明であったが、その他の日は有色噴煙は観測されなかった。

26日及び28日に、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰を観測した(前期間はなし)。今期間の降灰量は0g/m<sup>2</sup>(1平方メートルあたり0.5g未満の微量)であった。

**表 2 火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 5 号	26 日 15:00	火山活動は引き続きやや活発（微小地震やや多く発生、噴煙活動やや低下傾向、火口底の高温状態継続、微弱的な火映現象を観測）。レベルは 2。
	火山観測情報第 6 号	1 日 11:45	火山性地震多発。レベルは 2。
	<b>臨時火山情報第 1 号</b>	1 日 20:09	20 時 02 分ころ噴火。レベルを 2 から 3 に変更。
	火山観測情報第 7 号	1 日 20:30	20 時 02 分の噴火の状況（大きな爆発音と空振を観測、噴石が中腹以上に飛散）。レベルは 3。
	火山観測情報第 8 号	1 日 23:35	20 時 02 分の噴火の状況（栃木県宇都宮市、福島県郡山市で降灰を確認、噴火に伴う傾斜計の変動あり。）。レベルは 3。
三宅島	火山観測情報第 475 号 ↓（1 日 2 回発表） 火山観測情報第 488 号	26 日 09:30 ↓ 1 日 16:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
阿蘇山	火山観測情報第 43 号	27 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、湯量約 3 割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、微動連続状態）。レベルは 2。